

豊かで充実した老後を  
漁業者国民年金基金  
漁業者年金

ひとりば万人のために、万人はひとりのために

6月号 No. 428

一部 10円

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
(財) 兵庫県水産振興基金  
神戸市兵庫区中之島 2-2-1  
TEL 681-6954~7  
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

# 拓水

在りし日の英姿を偲び

## 第17回兵庫県漁民 物故者合同供養祭を挙

### 二〇六柱を奉納する

去る六月三日、天候に恵まれた聖地高野山において、第十七回兵庫県漁民物故者合同供養祭が、漁業関係者ら三〇三名の参列のもと、厳かに執り行われました。

初めに、遺族代表の手によって、本年度物故者二〇六柱(当日の申告を含む)の芳名簿を奉納し、引き続き、主催者を代表して酒部県漁連会長より「本県が今日、全国有数水産県に発展したことは尊霊のご努力の賜物であ



追悼の言葉を述べる酒部県漁連会長

業績に深甚なる敬意を表すものであります。今、我が国漁業は国際的にも国内的にも極めて多事多難なものがあり、大きな転換期を迎えております。私たちが、諸霊の意思を受け継ぎ、新たな漁業の再構築を図るため一致団結して、この難局を乗り越え、豊かで魅力ある漁業と活力にみちた漁村づくりに精進することを誓います。



参拝するご遺族の皆さん

また、ご来賓からの追悼のことばとして、員原県知事(和久農林)からありました。次に議長選任の後、議案審議に移り、提出された四議案の全てが満場一致で可決・承認されました。

最後に、読経のながれる中、来賓、ご遺族から一般参列者等まで焼香が行われました。本供養祭は、本年で七回を迎え、これまで合祀されたご尊霊は八、〇九七柱となり、心からご冥福をお祈り致します。

竹野浜漁協青壮年部(鳴海 清)技術交流報告

一、二勤一休制を取り入れたシャコ資源管理について  
伊保漁協水産研究会(築田 晴彦)

二、漁業経営のソフト化  
飯屋水産4日クラブ(浜 全一)

三、フット式生簀による養殖  
浜坂町漁協青壮年部(中村 勲)

## 第16回兵庫県漁青連 通常総会を開催

去る六月二〇日(土)兵庫県立水産会館四階大会議室において、平成四年度(第一六回)と活力ある漁村社会の創造の実現を目指し、視点はいつも新しく、そしてあたたかく進を積極的に取り組んでいくので、青壮年部員の皆さんにおいても、こうした話題を考慮に入れ、今後とも漁協や系統団体と緊密な連携をもとに、漁業の振興活性化のため、活躍の場を期待する旨の挨拶が酒部会長



あいさつをされる磯田会長



兵庫県漁青連が漁場クリーンアップポスターを作成

が開かれ、大会宣言の朗読の後、漁村青年としての立場から当面する問題に取り組んで行

去る六月二四日、県立水産会館において、平成四年度兵庫県漁協婦人部連合会通常総会および第三七回兵庫県漁協婦人部大会が、県下漁協婦人部員等一三七名の出席を得て開催されました。



あいさつをされる播磨会長

去る六月二四日、県立水産会館において、平成四年度兵庫県漁協婦人部連合会通常総会および第三七回兵庫県漁協婦人部大会が、県下漁協婦人部員等一三七名の出席を得て開催されました。

## 平成4年度通常総会 第37回

の使命の重要性と婦人部に期待することはが述べられました。引き続いて、山田副会長を議長に提案審議が開始され、提出された四議案の全てが満場一致で可決承認され、平成四年度通常総会は、滞りなく終了しました。

# 本年度のノリ養殖の経過と問題点

## 水試レポート

平成三年度のノリ生産は、昨年度に比べ枚数で約一〇%、金額で約九%増加しました。しかし平均単価は昨年度および全国平均を下回り、全固有数のノリ生産額としては物足らない結果に終わりました。ここに、平成三年度のノリ漁期を振り返りながら、米漁期に残された問題点をともに考えていきたいと思います。

三月の中下旬には平年よりかなり多い降雨量が記録された。主要な栄養塩である窒素量は、播磨灘沖合の平均値でみると、一〇月には平年並み、一〇月から二月までは平年よりやや高めで推移したが、三月に急減した。以後平年より低めで推移した。

**探・育苗状況**  
育苗期間中の気温・水温・降雨量の日変化および平年比較を図二に示す。水温は一〇月二五日頃までは順調に降下したが、その後やや降下が鈍った。降雨量は平年よりやや少なかったが、降雨日数は比較的多かった。一月上旬には晴天の日が続き、降雨量も平年よりかなり少なかった。西播地区では、一部の漁場で一〇月三日から陸上採苗網の張り込

みが行われた。早くから育苗を開始した漁場は、一〇月二、三日頃から入庫され、家島・坊勢漁場では、一月上旬には順調に入庫された。本年度の採苗は、野外のノリ一部、人工とも順調に経過したが、採苗の時点ですでに芽付きの濃い網が目立った。また、育苗後期の一〇月末は当初から芽付きの濃い網が目立った。また、東播地区では、陸上採苗網の張り込みが一〇月五日から八日の間に行われ、日本海採苗網も一〇月八日までに各漁場に移植された。育苗はほぼ順調に経過し、入庫は一〇月三、四日頃から開始され、一月上旬には終了した。しかし、一〇月末の小潮後に入庫した網には、芽付きの濃い網が目立つものが多かった。

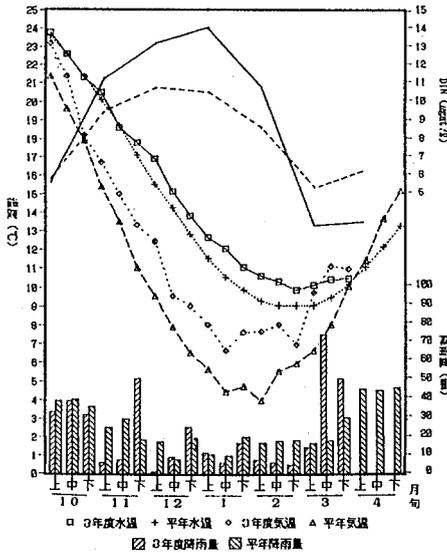


図1 平成3年度漁期の旬別気象・海況の変化

多かった。一方早期に育苗を開始し、入庫が一〇月末以降に遅れた網では、芽付きがかなり進行し、芽の脱落がみられた網もあった。早期入庫された網は芽付きが濃く、良好な種網が得られた。淡路・西播地区では、陸上採苗網の張り込みは一〇月一〇日から開始された。野原採苗は一〇月一日以降地先海で行われたが、採苗網を一旦入庫し、陸上採苗網と合わせて一〇月二〇日頃から育苗を行った。育苗は順調に経過し、一〇月末から一月上旬にかけて入庫が行われたが、良好な種網が多かった。淡路・南播地区は、西淡野の一部漁場で一〇月一日から、その他の漁場で一〇月一七日から育苗を開始された。育苗期間中は芽付きの濃い網が目立つ。また、鹿ノ瀬漁場では、一月上旬には順調に入庫された。本年度の採苗は、野外のノリ一部、人工とも順調に経過したが、採苗の時点ですでに芽付きの濃い網が目立った。また、育苗後期の一〇月末は当初から芽付きの濃い網が目立った。また、東播地区では、陸上採苗網の張り込みが一〇月五日から八日の間に行われ、日本海採苗網も一〇月八日までに各漁場に移植された。育苗はほぼ順調に経過し、入庫は一〇月三、四日頃から開始され、一月上旬には終了した。しかし、一〇月末の小潮後に入庫した網には、芽付きの濃い網が目立つものが多かった。

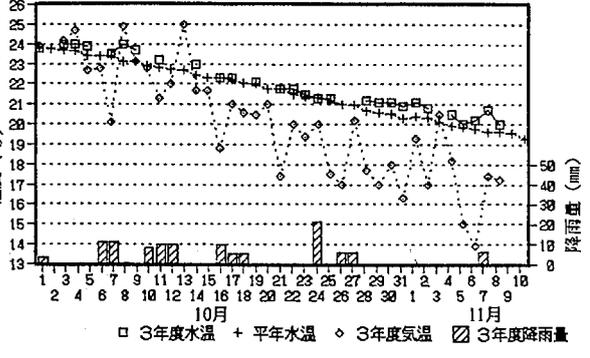
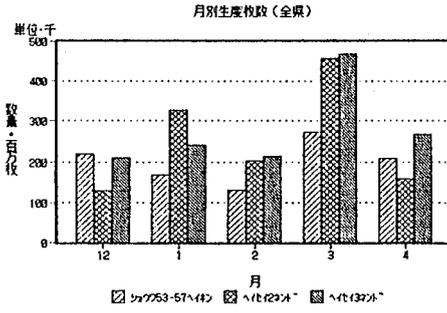
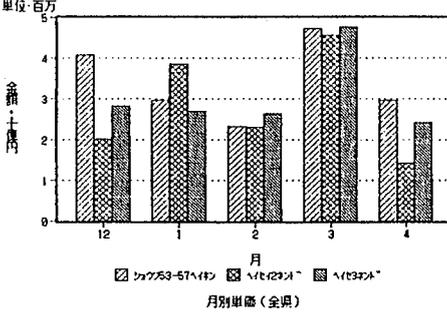


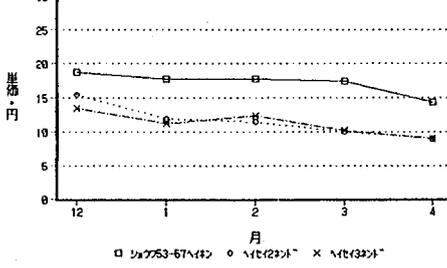
図2 育苗期間中の気温、水温、降雨量の日変化および平年比較



月別生産枚数(全国)



月別生産金額(全国)



月別単価(全国)

図4 平成2年度、3年度漁期における月別生産結果および昭和53~57年度平均との比較

多かった。一方早期に育苗を開始し、入庫が一〇月末以降に遅れた網では、芽付きがかなり進行し、芽の脱落がみられた網もあった。早期入庫された網は芽付きが濃く、良好な種網が得られた。淡路・西播地区では、陸上採苗網の張り込みは一〇月一〇日から開始された。野原採苗は一〇月一日以降地先海で行われたが、採苗網を一旦入庫し、陸上採苗網と合わせて一〇月二〇日頃から育苗を行った。育苗は順調に経過し、一〇月末から一月上旬にかけて入庫が行われたが、良好な種網が多かった。淡路・南播地区は、西淡野の一部漁場で一〇月一日から、その他の漁場で一〇月一七日から育苗を開始された。育苗期間中は芽付きの濃い網が目立つ。また、鹿ノ瀬漁場では、一月上旬には順調に入庫された。本年度の採苗は、野外のノリ一部、人工とも順調に経過したが、採苗の時点ですでに芽付きの濃い網が目立った。また、育苗後期の一〇月末は当初から芽付きの濃い網が目立った。また、東播地区では、陸上採苗網の張り込みが一〇月五日から八日の間に行われ、日本海採苗網も一〇月八日までに各漁場に移植された。育苗はほぼ順調に経過し、入庫は一〇月三、四日頃から開始され、一月上旬には終了した。しかし、一〇月末の小潮後に入庫した網には、芽付きの濃い網が目立つものが多かった。

多かった。一方早期に育苗を開始し、入庫が一〇月末以降に遅れた網では、芽付きがかなり進行し、芽の脱落がみられた網もあった。早期入庫された網は芽付きが濃く、良好な種網が得られた。淡路・西播地区では、陸上採苗網の張り込みは一〇月一〇日から開始された。野原採苗は一〇月一日以降地先海で行われたが、採苗網を一旦入庫し、陸上採苗網と合わせて一〇月二〇日頃から育苗を行った。育苗は順調に経過し、一〇月末から一月上旬にかけて入庫が行われたが、良好な種網が多かった。淡路・南播地区は、西淡野の一部漁場で一〇月一日から、その他の漁場で一〇月一七日から育苗を開始された。育苗期間中は芽付きの濃い網が目立つ。また、鹿ノ瀬漁場では、一月上旬には順調に入庫された。本年度の採苗は、野外のノリ一部、人工とも順調に経過したが、採苗の時点ですでに芽付きの濃い網が目立った。また、育苗後期の一〇月末は当初から芽付きの濃い網が目立った。また、東播地区では、陸上採苗網の張り込みが一〇月五日から八日の間に行われ、日本海採苗網も一〇月八日までに各漁場に移植された。育苗はほぼ順調に経過し、入庫は一〇月三、四日頃から開始され、一月上旬には終了した。しかし、一〇月末の小潮後に入庫した網には、芽付きの濃い網が目立つものが多かった。

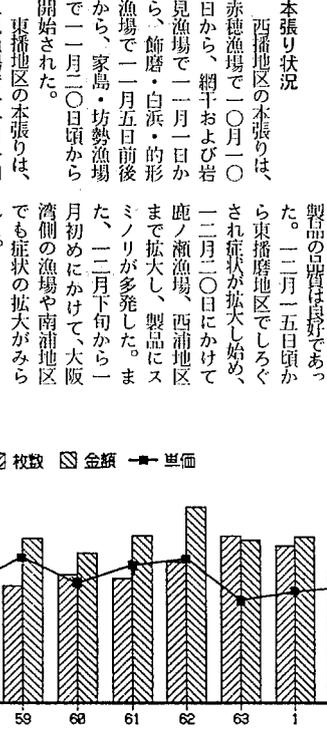


図3 昭和58~平成3年度の全県における年度別共販枚数、金額、単価の比較

\*昭和53~57年度の枚数、金額、単価の平均および標準偏差を示す

た。西播地区ではこの色落ちとともに終漁となったが、三月中旬以降、栄養塩は回復し、製品の色調も回復した。生産状況  
本県における漁連共販結果の年度別の比較を図三に示す。  
生産枚数は一四億枚で、昨年度の約一〇%、生産金額は一五三億円で昨年度の約一〇%であった。昨年度は風波の影響で生産枚数、金額とも伸びやんだが、本年度はほぼ平年並みの生産であったといえる。  
単価の平均は、前期生産でスミノリを多発した影響が強く、一〇円九二銭と昨年を若干下回る低い水準となっている。

次に、昨年度および本年度の共販結果と昭和五三~五七年度の平均を月別に比較したものを図四に示す。  
一二月から一月までの生産を前期生産とすると、昭和五三~五七年度の平均では前期生

産の比率は枚数、金額とも約四〇％であるのに対し、昨年度の前期生産の比率は枚数で三六％と少なく、金額では四一％でほぼ平均並みであった。また、本年度の前期生産は枚数で三二％、金額では三六％にとどまり、しるぐされ症およびあかざれ病により前期生産が不調であったことが示されている。

なお単価は、昨年度本年度ともどの月においても平均を大幅に下回っている。

**養殖規模の動向**  
本県のノリ養殖規模の動向について、昭和五三〜五七年度を基準として各年度の比較を表一に示す。

生産者数は昭和五八年度以降、明らかに減少傾向にあるが、冊数はほぼ安定している。このため一人当りの冊数は増加する傾向がみられる。

持ち網数は昭和五五年度以降、年々減少しており、これは養殖技術が安定し、予備網を必要としなくなったためと考えられる。また、持ち網の内占める地種網の割合は、ここ数年七〜八割りではほぼ変化しておらず、地種網生産が安定していることを示している。

網当りの生産枚数については、昭和五八年度以降、常に平均を上回る状況にある。これは、本県の生産パターンが、単価は低くとも生産枚数がカバーするという量産型に定着しているためである。

表1 昭和53年度から平成元年度までのノリ養殖動向の経過

年度	生産者数	冊数	一人当り冊数	持ち網数	持ち網比率		生産枚数	網当り生産枚数
					地種	移種		
53	93	88	95	87	46	54	86	112
54	99	100	101	101	50	50	111	110
55	103	105	102	112	52	48	102	96
56	105	106	101	107	60	40	101	95
57	101	101	100	105	62	38	89	87
58	98	98	100	100	60	40	140	142
59	95	98	104	98	63	37	105	107
60	92	96	104	91	75	25	114	120
61	89	98	110	87	65	35	111	113
62	83	100	121	85	79	21	127	126
63	82	98	119	78	76	24	144	145
元	79	97	122	78	79	21	135	140
2	73	96	132	73	79	21	115	120
3	67	90	134	66	79	21	127	140

注) 5年間(53〜57年度)の平均を100とする指数を示す。ただし、持ち網比率は各年度の持ち網数に対する比率。

以上、本年度の養殖経過をいかんにかかわらず、それぞれ時期においてさまざまな問題点が残されています。

**本年度の問題点**  
本張り前期には、本県で最も大きな問題となるしるぐされ症状が発生しています。本張り後に水温の降下で鈍り、風波が低下し、小

潮期と重なるという環境条件が、昭和六三年度以降のしるぐされ症を拡大して共通しています。さし当りこの対策としては、最も危険な時期に、葉体を伸ばし、早期摘採を励行することや、前期生産には病害に強い品種を選ぶこと、後期生産には、病害発生による大きな生産被害はなくなっており、この数年は順調な生産がされてきました。したが、本年度は三月以降に広い範囲で色落ちがみられ、この時期には、水温の上昇にともない葉体の生長は

速くなり、摘採の遅れが、製品の品質の低下をより進める傾向もみられます。後期生産でも、伸びてきたら一日の間隔で機械的に摘採するのではなく、水浸や栄養塩の濃縮など、必要であると考えられます。

後期生産では、病害発生による大きな生産被害はなくなっており、この数年は順調な生産がされてきました。したが、本年度は三月以降に広い範囲で色落ちがみられ、この時期には、水温の上昇にともない葉体の生長は

速くなり、摘採の遅れが、製品の品質の低下をより進める傾向もみられます。後期生産でも、伸びてきたら一日の間隔で機械的に摘採するのではなく、水浸や栄養塩の濃縮など、必要であると考えられます。

これは、漁場の過密化による製品の品質低下を招くだけでなく、海

上作業量の増加により網管理不足を引き起こすこととなります。前期生産でのしるぐされ症、後期生産での色落ちに対しては早期摘採が最も基本的な対策です。こういった意味でも、漁場あるいは生産者数に見合った適正張りを確保することは、下回りました。これは、

東日本および九州地区で、目立った病害もみられず順調な生産が行われたのに対し、本県の前期生産でスミノリを多発したことから、ものが大きいと考えられます。

以上、本年度のノリ養殖経過と残された問題点について述べてきましたが、これをひとつづつ解決してゆくためには、生産者の皆様の御英断とノリ養殖安定対策協議会の組織力にかかっているといっても過言ではありません。

必要がある。三、その他  
今年八月で今期委員の任期が満了するにあたり、第一四期委員の会業務報告書の作成案が了承された。

五月二十九日  
但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

五月二十九日  
香住沖スズイガニ保護水域による水中観察結果について、但馬水産事務所試験研究室より報告がなされました。

五月二十九日  
兵庫県立水産試験場調査結果によると大阪湾の表層水温は一五・八〜一六・四℃の範囲にあり、ほぼ平年並となっている。また紀伊水道北部の表層水温は一五・二〜一七・三℃の範囲にあり、北東部では平年よりやや高目

一本釣・曳網釣明石海峡及びその周辺海域では、スズキ、セイゴ、サバなどが主に漁獲されている。例年と比較してスズキの漁獲が多い。また、五月中旬までサバの漁獲が多

減らせばよいというのではなく、中級品の需要が増えているというプラズマ材料も見据え、流通業界も含めたノリ業と全体の浮沈をかけた考えを重視する必要があるのではないかと思われる。

以上、本年度のノリ養殖経過と残された問題点について述べてきましたが、これをひとつづつ解決してゆくためには、生産者の皆様の御英断とノリ養殖安定対策協議会の組織力にかかっているといっても過言ではありません。

### 海区漁業調整委員会だより

五月二十九日  
兵庫県立水産試験場調査結果によると大阪湾の表層水温は一五・八〜一六・四℃の範囲にあり、ほぼ平年並となっている。また紀伊水道北部の表層水温は一五・二〜一七・三℃の範囲にあり、北東部では平年よりやや高目

一本釣・曳網釣明石海峡及びその周辺海域では、スズキ、セイゴ、サバなどが主に漁獲されている。例年と比較してスズキの漁獲が多い。また、五月中旬までサバの漁獲が多

減らせばよいというのではなく、中級品の需要が増えているというプラズマ材料も見据え、流通業界も含めたノリ業と全体の浮沈をかけた考えを重視する必要があるのではないかと思われる。

以上、本年度のノリ養殖経過と残された問題点について述べてきましたが、これをひとつづつ解決してゆくためには、生産者の皆様の御英断とノリ養殖安定対策協議会の組織力にかかっているといっても過言ではありません。

必要がある。三、その他  
今年八月で今期委員の任期が満了するにあたり、第一四期委員の会業務報告書の作成案が了承された。

五月二十九日  
但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

必要がある。三、その他  
今年八月で今期委員の任期が満了するにあたり、第一四期委員の会業務報告書の作成案が了承された。

五月二十九日  
但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

五月二十九日  
香住沖スズイガニ保護水域による水中観察結果について、但馬水産事務所試験研究室より報告がなされました。

五月二十九日  
兵庫県立水産試験場調査結果によると大阪湾の表層水温は一五・八〜一六・四℃の範囲にあり、ほぼ平年並となっている。また紀伊水道北部の表層水温は一五・二〜一七・三℃の範囲にあり、北東部では平年よりやや高目

一本釣・曳網釣明石海峡及びその周辺海域では、スズキ、セイゴ、サバなどが主に漁獲されている。例年と比較してスズキの漁獲が多い。また、五月中旬までサバの漁獲が多

減らせばよいというのではなく、中級品の需要が増えているというプラズマ材料も見据え、流通業界も含めたノリ業と全体の浮沈をかけた考えを重視する必要があるのではないかと思われる。

以上、本年度のノリ養殖経過と残された問題点について述べてきましたが、これをひとつづつ解決してゆくためには、生産者の皆様の御英断とノリ養殖安定対策協議会の組織力にかかっているといっても過言ではありません。

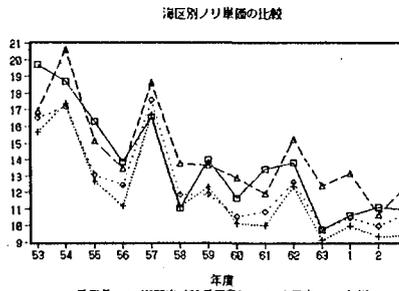
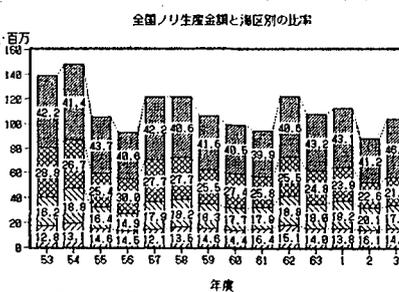
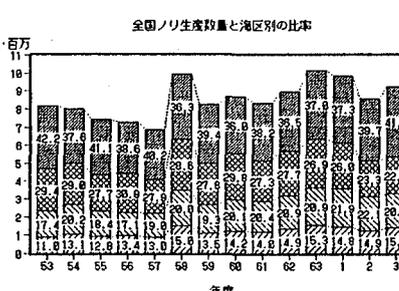


図5 年度別の全国、海区および兵庫県におけるノリ養殖生産の推移

### 漁海況情報

平成四年五月  
兵庫県立水産試験場調査結果によると大阪湾の表層水温は一五・八〜一六・四℃の範囲にあり、ほぼ平年並となっている。また紀伊水道北部の表層水温は一五・二〜一七・三℃の範囲にあり、北東部では平年よりやや高目

一本釣・曳網釣明石海峡及びその周辺海域では、スズキ、セイゴ、サバなどが主に漁獲されている。例年と比較してスズキの漁獲が多い。また、五月中旬までサバの漁獲が多

減らせばよいというのではなく、中級品の需要が増えているというプラズマ材料も見据え、流通業界も含めたノリ業と全体の浮沈をかけた考えを重視する必要があるのではないかと思われる。

以上、本年度のノリ養殖経過と残された問題点について述べてきましたが、これをひとつづつ解決してゆくためには、生産者の皆様の御英断とノリ養殖安定対策協議会の組織力にかかっているといっても過言ではありません。

必要がある。三、その他  
今年八月で今期委員の任期が満了するにあたり、第一四期委員の会業務報告書の作成案が了承された。

五月二十九日  
但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

五月二十九日  
香住沖スズイガニ保護水域による水中観察結果について、但馬水産事務所試験研究室より報告がなされました。

五月二十九日  
兵庫県立水産試験場調査結果によると大阪湾の表層水温は一五・八〜一六・四℃の範囲にあり、ほぼ平年並となっている。また紀伊水道北部の表層水温は一五・二〜一七・三℃の範囲にあり、北東部では平年よりやや高目

一本釣・曳網釣明石海峡及びその周辺海域では、スズキ、セイゴ、サバなどが主に漁獲されている。例年と比較してスズキの漁獲が多い。また、五月中旬までサバの漁獲が多

減らせばよいというのではなく、中級品の需要が増えているというプラズマ材料も見据え、流通業界も含めたノリ業と全体の浮沈をかけた考えを重視する必要があるのではないかと思われる。

以上、本年度のノリ養殖経過と残された問題点について述べてきましたが、これをひとつづつ解決してゆくためには、生産者の皆様の御英断とノリ養殖安定対策協議会の組織力にかかっているといっても過言ではありません。

必要がある。三、その他  
今年八月で今期委員の任期が満了するにあたり、第一四期委員の会業務報告書の作成案が了承された。

五月二十九日  
但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

五月二十九日  
香住沖スズイガニ保護水域による水中観察結果について、但馬水産事務所試験研究室より報告がなされました。

# サンテレビ「こちら海です」の テーマソングが新しくなり ますますパワーアップ!!

平成三年一〇月より、サンテレビ・KBS京都・テレビ和歌山・福井テレビの四局ネットワークによる「こちら海です」が番組制作に四名のリポーターを起用。サンテレビの黒守リポーターは齋藤律江さん。女性の起用で、ロケの雰囲気も明るくなり取材先の皆さんにも好評です。今後とも地元の方々に親しまれるリポーターとなるべく、齋藤リポーターは現在奮闘中です。それに五月からはテーマソングもポニージャックが歌う「ははのうた」から、軽快なテンポの「あなながいの川」に一新。作曲・唄はヒリバンパンの菅原進氏。番組のオーブニングにふさわしい爽やかなイメージに生まれ変わりました。



サンテレビリポーター  
齋藤 律江

今年で「こちら海です」も一五周年目に入り、兵庫県の漁業を支える人々や地元の方々の期待に応えるべく、スタイルを変えてますますパワーアップ。制作スタッフ一同、明るく楽しい番組づくりを目指して燃えています。また番組づくり役立っているため、「拓水」読者の皆様から番組に対するご意見・ご希望

を募集しております。アンケートにお答えいただいた方の中から合計二〇名様に「こちら海です」特製Tシャツまたは帽子をプレゼント。郵便ハガキに住所・氏名・年齢・性別・

職業を記入の上、下記アンケート(①~④)にお答えください。  
①新しいテーマソングについて  
(a) 良い (b) 普通 (c) 良くない  
その理由  
②新しい番組タイトルのデザインについて  
(a) 良い (b) 普通 (c) 良くない  
その理由  
③齋藤律江リポーターについて  
④今後番組の中で取り上げて欲しいテーマ宛て先 〒665 神戸市兵庫区中之島 丁目二番一号  
兵庫県漁業協同組合連合会 指導部指導課「拓水」係宛

## 栽培漁業センターです (47)

初夏の訪れにより当センターでは種苗生産の真っ盛りである。五月一日及び八日には約二mmのヒラメの稚魚、五万尾を各市町へ配布した。ヒラメの種苗生産が終了すると同時にマダイ及びガザミの種苗生産を開始している。新たに七月までパイトのおぼた三人を加え、職員総動員で種苗生産事業に取り組んでいる。写真は孵化後一〇日の全長四mmほどのマダイの仔魚で、鰾の形成がさればかりである。鰾は最初からあるわけではなく、空気を飲み込んで形成されるのである。ふ化直後の仔魚については口もなく、頭を下にして水中に浮遊している。その様子は蚊の幼虫であるボウフラを思わせる。一方、赤穂事業場では五月一四日に、日本種苗生産はマダイの種苗生産はだいたい七月上旬まで続く。ガザミについては、今年購入した一回の親ガニが小さいため、一個体の親ガニから取りれる幼生数も少ない。そこで、収容するのに同日に二、三個体の親ガニから孵化させなければならぬ。頭の痛いとこらだ。なぜかというところ、ガザミは成長段階が一つ進むにつれて、半分に減っていくぐらい共食いが大きい。成長の違いは致命的となる。二期工事である設備面でも使い易い施設にしていきたい。(兵裁協 末原)

ふ化後、10日のマダイ (全長4ミリ程度)

## 兵庫JCC通信 今、農協・生協では

農業協同組合 地元の野菜  
学校給食に登場  
安全でおいしい野菜を子供たちに――と、三田市とJAさんだ(三田市農協)が協力して、地元産の有機野菜を使った学校給食が六月一六日、同市内の市立幼稚園、小学校、中学校で始まりました。子供たちの健康とすこやかな成長に役立てるとともに、自然と農業を身近なものにし、ふるさと三田の意識を育てようというのがねらいです。  
今年、同市志手原、上槻瀬、旭沢谷地区の

各農業生産組合の協力で契約し、無農薬、有機肥料で栽培した野菜をJAさんだを通して供給します。六月から七月にはタマネギ九、五五〇キロ、ジャガイモ三、一六〇キロ、イコン二、一七〇キロ、一月にはニンジン三、二六〇キロがとどけられる予定です。初日の献立に使われたのは志手原、上槻瀬地区で栽培し、前日に収穫したタマネギ五七二キロ。「いきいき農産物」と標示した専用コンテナで、同市狭間が丘、ゆりのき台の両

給食センターに運ばれ、一方コープこうべは今回が初出場でした。チームは、艇長のほか二人のこぎ手や、ドラ、太鼓、かじ取り各一人の総勢三二人で編成します。ドラや太鼓のリズムにあわせて一斉に漕ぎだすペロン競漕は、体力とならんでチームワークが勝利への大きな要素です。播磨生協はベテランらしく、ペロン実力派の長崎県からの参加もあった一般の部で健闘しましたが、おしくも準決勝戦で敗退しました。  
一方、コープこうべは男女各一チームがオープンレースに出場しました。播磨生協チームから特訓を受けた成果が実り、女子チームは二位になりました。

## 豊かで美しい海や川を! それがみんなの願いです。

私たちの誓い  
合成洗剤は  
1. 買わない  
2. あげない  
3. もらわない  
兵庫県漁連・兵庫県漁婦連・漁協



## 兵庫県の3か月予報

大阪管区気象台発表  
概況) 梅雨明けは平年より遅い見込みですが梅雨明け後は暑い日が多いでしょう。この期間近畿地方に接近する台風は2から3個の見込みです。  
7月) 梅雨前線の活動が活発となり局地的に大雨の降る恐れがあります。梅雨明けは平年より遅いでしょう。梅雨明け後は晴れて暑い見込みです。  
8月) 前半は引き続き晴れて暑い日が多いでしょう。後半には大気の状態が不安定となり、にわか雨や雷雨が起こりやすい見込みです。  
9月) 残暑は一時的でしょう。秋雨前線は不活発で天気は周期的に変わる見込みです。

(気温及び降水量の予想)

月\要素	気 温	平年値(℃)	降 水 量	平年値(mm)
7 月	平 年 並	豊岡	多 い	豊岡 181.4
		神戸	平 年 並	神戸 156.8
8 月	高 い	豊岡	少 な い	豊岡 122.1
		神戸	少 な い	神戸 91.7
9 月	平 年 並	豊岡	少 な い	豊岡 247.4
		神戸	少 な い	神戸 170.8

月平均気温及び月降水量の階級区分(この階級は季節及び地域によって多少異なります)

要素・表現	高(多)い	平 年 並	低(少)い
気温年差	≥ +0.6℃	+0.5℃~ -0.5℃	-0.6℃≥
降水量年比	≥ 120%	119%~70%	69%~0%